

令和4年度事業報告

令和5年6月27日提出

社会福祉法人 札幌慈啓会
理事長 太田 眞 琴

第1. 事業の状況

1. 令和4年度事業総括	3 頁
2. 法人本部	4 頁
3. 総合相談室	5 頁
4. 研究・研修センター	6 頁
5. 慈啓会養護老人ホーム	7 頁
6. 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム	8 頁
7. 慈啓会ふれあいの郷高齢者生活福祉センター	9 頁
8. 慈啓会特別養護老人ホーム（従来型）	10 頁
9. 慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型）	11 頁
10. 慈啓会短期入所生活介護事業所（ユニット型）	12 頁
11. 慈啓会デイサービスセンター（一般型）	13 頁
12. 慈啓会訪問介護	14 頁
13. 慈啓会介護総合相談センター	15 頁
14. 中央区介護予防センター旭ヶ丘	16 頁
15. 特別養護老人ホーム札幌市稲寿園	17 頁
16. 稲寿園短期入所生活介護事業所	18 頁
17. 稲寿園デイサービスセンター	19 頁
18. 稲寿園訪問介護	20 頁
19. 稲寿園介護総合相談センター	21 頁
20. 札幌市菊寿園軽費老人ホーム（A型）	22 頁
21. 札幌市拓寿園軽費老人ホーム（B型）	23 頁
22. 慈啓会老人保健施設	24 頁
23. 慈啓会病院	25 頁
24. 啓明ともいき保育園	26 頁
25. 中央区第2地域包括支援センター・中央区第2介護予防支援事業所	27 頁
26. 中央区第3地域包括支援センター・中央区第3介護予防支援事業所	28 頁

第2. 処務の状況

1. 役員および評議員に関する事項	29 頁
2. 職員に関する事項	30 頁
3. 役員会に関する事項	31 頁

第1. 事業の状況

1. 令和4年度事業総括

事業区分	拠点区分	サービス区分・主な事業	主な収入	事業目的・事業内容
社会福祉	法人本部	法人本部	寄附金・繰入金	定款・規程類の整備、給与・人事管理の総括、予算決算及び資金管理・経営の総括、中・長期計画の算定。
		総合相談室		相談窓口・施設連携・地域活動・相談員支援を主な事業とし、近隣地域の福祉向上に寄与する。
		研究・研修センター		研究・研修助成事業及び法人職員研修を実施する。
	慈啓会養護老人ホーム	慈啓会養護老人ホーム	措置費	原則として 65 歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		慈啓会養護特定施設入居者介護事業	介護保険収入利用者負担金収入	
	慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム	ふれあいの郷養護老人ホーム	措置費	原則として 65 歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		ふれあいの郷養護特定施設入居者介護事業	介護保険収入利用者負担金収入	
		ふれあいの郷高齢者生活福祉センター	委託料	
	慈啓会特別養護老人ホーム	慈啓会特別養護老人ホーム（従来型）	介護保険収入利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する（日常生活の世話を重視した生活施設）。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。
		慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型）		
		慈啓会短期入所施設（ユニット型）		特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。
		慈啓会デイサービスセンター（一般型）		特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。
		慈啓会訪問介護		ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。
		慈啓会介護総合相談センター		在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。
		中央区介護予防センター旭ヶ丘	委託料	地域包括支援センターの機能を補完する協力機関として、より身近な地域の相談窓口となり、連携協議して介護予防サービスを行う。
	札幌市稲寿園	稲寿園特別養護老人ホーム	介護保険収入利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する（日常生活の世話を重視した生活施設）。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。
		稲寿園短期入所施設		特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。
		稲寿園デイサービスセンター		特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。
		稲寿園訪問介護		ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。
		稲寿園介護総合相談センター		在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。
	札幌市菊寿園	札幌市菊寿園（軽費老人ホーム A 型）	委託料	60 歳以上の札幌市民で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入居する。（所得制限あり） A 型：食事付 B 型：自炊
	札幌市拓寿園	札幌市拓寿園（軽費老人ホーム B 型）		
	慈啓会老人保健施設	入所療養介護	介護保険収入利用者負担金収入	病状が安定し、看護・医学的管理の下で介護及びリハビリテーション等を提供し、家庭復帰ができるように支援する療養施設。
		短期入所療養介護		老人保健施設にて、短期間入所しながら、看護・医学的管理の下で介護や機能訓練を行う。
		通所リハビリテーション		老人保健施設にて、理学療法士や作業療法士等によるリハビリテーションを中心とした日帰りサービスを行う。
	慈啓会病院	慈啓会病院	診療報酬利用者負担金収入	傷病者のための科学的でかつ適正な医療を行う。 ＜診療科目＞ 内科、老年内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、精神科、リハビリテーション科、放射線診断科
	啓明ともいき保育園	啓明ともいき保育園	保育所運営費収入利用料収入	就労等の理由により保育に欠ける生後 5 ヶ月から小学校入学前の乳幼児の一人ひとりが、心身ともに健康で、たくましく、思いやりのある子どもに育つ保育と保護者や地域との連携を深めて子育ての楽しさを伝える。特別保育事業として、延長保育事業と一時保育事業を行う。
公益	札幌市中央区第2地域包括支援センター	中央区第2地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
		中央区第2介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。
	札幌市中央区第3地域包括支援センター	中央区第3地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
		中央区第3介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。

2. 法人本部

基本方針	1. 法人理念「共生」のもと、社会福祉事業の推進を行った。 2. 法人の経営方針及び中長期経営計画の策定を進めた。 3. 地域における公益的な取組を実施した。 4. 人材確保・育成の視点を持ち、トータルな人材マネジメントを推進した。 5. コンプライアンス（法令等遵守）を徹底することに努めた。 6. 感染症発生時の対応や感染症・災害計画策定等の取り組み及び支援を実施した。
重点目標	【経営全般】 1. 法人全体および各拠点の経営について分析・把握・管理を行い、健全な財務規律の確立に取り組んだ。 2. 将来にわたって安定した法人経営を実現するために 2025 年に向けた中期計画、2040 年を見据えた長期計画の策定を進めるため、次世代プロジェクト（次世代幹部候補職員の教育）を継続。また、法人ビジョンを策定するためのプロジェクトを立ち上げた。 3. 内部コミュニケーションおよび外部コミュニケーションの充実をはかり横断的な組織風土を目指し、組織のガバナンスの強化を進めた。 4. 新会計ソフトの導入および人事情報のアップデートを行い、IT 化・ICT 化の取り組みを進めた。健康診断システムの導入も検討進行中。 5. 新型コロナウイルス感染予防対応・災害対応として、長期的な視点で物資・人材・資金において法人全体の事業継続が可能となるよう対策を講じた。 6. 本部職員の業務属人化を是正するため、業務見直しと担当業務のチーム化を図った。 【地域における公益的な取組】 1. 総合相談室及び各拠点施設が行う地域福祉向上事業を支援した。 2. 災害時における福祉施設の広域的な取組を推進する。 （1）自然災害やコロナウイルス感染時等の緊急事態に備え、法人及び各拠点の事業継続計画を策定するため、全拠点における BCP 計画策定を進めた。当該プロジェクト会議を開催、計画案の作成を支援しつつ進めた。 （2）石狩・後志・空知地区の要援護者等の支援センター及び拠点法人・施設として、情報集約や連絡調整業務、緊急時機器の配備を行なった。 【人事・職員処遇】 1. 人材確保対策として従来の求人活動に加えて、介護職員の外国人受け入れの更なる推進、養成機関との連携、ホームページやSNSを活用した戦略的な人材確保を継続している。 2. 働き方改革の方針に沿って、法人内諸制度の改正に向けた協議を継続。特に労働時間管理関連については、法人・拠点間で理解の共通化を確認した。 3. 人事評価制度や給与制度等の改正に向けた具体的協議を行った。 4. 人材の確保および育成を推進するため、「就職支度金制度」を創設。また、「奨学金制度」の拡充を図った。 5. 労働安全衛生管理を推進した。法人統括衛生委員会活動の充実を図った。職員を対象とした心の相談室「ひだまり」を運営し、10 回開室のべ 19 人が利用した。 【財務】 1. 計画的な研修計画および法人ルールの周知を図るとともに、法人の事務担当職員における制度変更の学習の場として、会計担当者に対しインボイス制度の研修を 2 回実施した。 2. 法人全体における経理規定の周知と遵守を徹底した。 【コンプライアンス・リスク管理】 1. 法人理念の理解と倫理綱領・法令遵守要領等の周知徹底を図った。 2. ハラスメント対応について組織的に実践した。 3. 情報管理におけるガバナンスの整備を継続した。 4. 新採用職員オリエンテーションおよびフォローアップ研修にてこれらの内容について学習の場を設けた。 【広報・情報開示】 1. 様々な情報ツールを活用して法人の発信力の強化を図り、地域における公益的な取り組みの情報公開や求人活動のPR等を通じて、法人のブランディング化を推進した。 2. 法人のブランディングを最大目的としたホームページの刷新を検討中。また、併せて人材の採用に関する内容につき、就職支度金制度等のアピール改修を進めている。

3. 総合相談室

1) 相談受付

①総合相談件数

方 法	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
電話(直通)	44	43	51	49	67	67	29	28	39	39	42	42	61	61	53	53	70	69	49	49	57	57	6	6	568
来 訪	2		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		2
訪 問	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0
その他	3		1		0		3		0		1		1		0		0		0		0		0		9
総 数	49		52		67		32		39		43		62		53		70		49		57		6		579

*その他は郵便、メール、留守電等

②相談内容(複数入力可)

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
特養	3	2	1	3	0	1	1	2	0	1	2	0	16
慈啓会病院	1	2	0	1	1	1	0	1	0	2	1	1	11
老健	4	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	8
養護	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	4
軽費	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4
予防センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
包括	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ショート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所サービス	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
ヘルパー	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
生活支援ハウス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人外施設紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	38	45	66	26	38	37	59	50	70	46	54	4	533
合 計	49	52	69	32	39	43	63	53	70	50	57	6	583

2) 見学案内

実施件数:0件

見学者総数:0名

3) 会議参加

	会議名	出席回数		会議名	出席回数
本 部	役員会	7	稲 寿 園	入所判定会議	1
	月例会	12			
	経営会議	12	特 養	入所判定会議	12
	四役会	12			

4) 会議開催

苦情解決第三者委員会(ZOOM)	2
相談員連携会議・勉強会・懇親会	0
旭ヶ丘ミーティング	12
ともいきカフェ	0
コミュニティカフェ	0
地域自主活動支援	0
中央区認知症カフェ定例会	12
統括衛生委員会	12
法人ビジョンPJT	7

5) 連携・調整

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
慈啓会特養	5	30	30	32	31	31	35	7	32	13	9	11	266
慈啓会病院	1	29	29	29	31	31	34	9	29	14	9	17	262
慈啓会老健	6	7	7	10	11	11	14	9	8	13	8	10	114
慈啓会養護	4	5	5	8	12	10	15	9	8	12	10	9	107
稲寿園	4	9	9	10	9	10	12	8	10	11	8	8	108
ふれあいの郷	0	6	6	5	9	10	13	7	7	11	8	8	90
拓寿園・菊寿園	1	6	6	6	7	8	32	12	13	20	12	9	132
予防センター	1	1	1	4	0	1	0	0	0	0	0	0	8
居宅	1	2	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	10
包括支援センター	7	10	10	6	7	1	12	14	14	21	13	8	123
在宅サービス	2	2	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	10
保育園	1	5	5	5	2	5	10	6	8	10	6	5	68
法人外施設	10	16	16	7	6	8	13	8	6	14	10	24	138
合 計	43	128	128	129	126	127	190	89	135	139	93	109	1,436

6) その他

・広報誌共生発行 7月(11号)、2月(12号)

4. 研究・研修センター

- 1) 助成事業「さっぽろ慈啓会共生(ともいき)助成事業」
会議 運営委員会(ZOOM開催) 2回(6月2日、2月15日)
審査委員会(書面開催) 2回(6月中旬、3月中旬)
①2022年度助成事業
助成事業公募方法 法人ホームページ、札幌医大、星槎大学案内
募集応募 4件
助成決定 4件 申請総額 1,852,549 円
実績報告 4件 助成総額 1,792,549 円
②2023年度助成事業
助成事業公募方法 法人ホームページ、札幌医大、星槎大学案内
課題募集期間 2023年4月1日～4月30日
- 2) 研修企画
 1. 法人研修(全体) ZOOM開催 8 回
 - ・「身体拘束・虐待・行動制限防止について」
講師 株式会社シムス 専務取締役 山崎 加代子 氏
開催日・参加者: 令和4年6月23日(木)・103名(録画視聴含む)
 - ・「ストレスとの上手な付き合い方」
講師 札幌国際大学 人文学部 心理学科 教授 澤田 信也 氏
開催日・参加者: 令和4年7月20日(水)・58名(録画視聴含む)
 - ・「安全運転～アルコールチェックについて」
講師 インターリスク総研 株式会社 講師 小原 隼人 氏
開催日・参加者: 令和4年9月21日(木)・43名(録画視聴含む)
 - ・「コミュニケーション能力向上について」
講師 株式会社そよかぜ 専務取締役 酒井 賢一 氏
開催日・参加者: 令和4年10月26日(木)・74名(録画視聴含む)
 - ・「新型コロナウイルスの現状とインフルエンザの同時流行などについて」
講師 北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科 臨床看護学講座 石角 鈴華 氏
開催日・参加者: 令和4年12月6日(火)・195名(録画視聴含む)
 - ・「現場で発生する事故～法的責任やリスク等について」
講師 弁護士法人リブラ共同法律事務所 代表弁護士 菅原 仁人 氏
開催日・参加者: 令和5年1月26(木)・191名(録画視聴含む)
 - ・「成年後見制度の実際」
講師 合同会社TTB やまね社会福祉士事務所 山根 英香 氏
開催日・参加者: 令和5年2月21日(水)・155名(録画視聴含む)
 - ・「認知症の方への関わり方やケアのポイントについて」
講師 北海道大学病院 看護師長 認知症看護認定看護師 武田 桂子 氏
開催日・参加者: 令和5年3月23日(木)・188名(録画視聴含む)
 2. 役職者その他研修 開催1回
 - ・「会計研修～インボイス制度について① ②」(参加対象者: 会計・請求担当者及び責任者)
講師 税理士法人 ひずめ会計 代表社員 樋爪 昌之 氏
開催日・参加者: 令和4年11月18日(水)・38名 令和4年12月27日(火)・36名
 - ・「虐待事件の概要および防止について」
講師 札幌慈啓会 法人本部 福祉部長/経営企画部長 蝦名 真 氏
開催日・参加者: 令和5年1月11日(水)・259名(録画視聴含む)
 - ・「次世代プロジェクト」 7回開催
 - ・「新卒採用者フォローアップ」 2回開催
 3. 令和4年度 新採用者オリエンテーション 開催日・参加者: 令和4年4月1日(金)・11名
- 3) 国内派遣研修・海外研修 国内派遣研修・海外研修とも実施せず
- 4) その他 ・介護職員初任者研修 応募者数が規定に満たなかったため実施せず

5. 慈啓会養護老人ホーム（定員80名）

（令和4年度事業報告書）

（1）利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		
								入所	退所	慈啓会	その他	
男	17	最低	66	最高	91	平均	81.6	5	2	2	3	
女	60	最低	76	最高	103	平均	88.0	7	9	6	13	
計	77						平均	84.8	12	12	8	16

・在籍率 96.5%（毎月1日現在在籍数） ・利用率 95.0%（在籍延日数）

（2）防災訓練実施状況

- ・夜間想定避難訓練 R4/10/18(旭ヶ丘4施設合同)、R5/2/15(養護単独)
- ・土砂災害想定訓練 R5/3/30 本部より提供された防災関係映像を視聴

（3）行事・クラブ実施状況

- ・定例 歌クラブ、すこやか体操、誕生会、園内喫茶、防災訓練、炊き出し訓練、折り紙教室を行った。
懇談会は各階毎に実施し、月行事の確認や感染予防等の注意喚起、誕生者のお祝いを行った。
- ・季節行事 買い物バスレク、養護夏祭り（ゲーム）、盆の日（アイス提供）、敬老祝賀会、クリスマス会、
年越し会新年会、獅子舞、書初め、宝引き（ゲーム大会）、節分豆まき
- ・個別機能訓練 慈啓会特養からの派遣 PT による個別機能訓練は実施回数 14 回、利用率 58%
次年度は別の訓練体制を検討し令和4年度でこの活動は終了。

（4）給食実施状況

- ・推定必要栄養量の個人差が大きいため、必要量が不足せぬよう多いほうに合わせて食事を整えた。
- ・鰻の蒲焼やおはぎなどもメインの料理として組み入れ楽しみになる食事になるよう工夫した。
- ・非常用保存食は特にローリングストック用の食材価格が高騰したため、不足せぬよう留意し確保した。

（5）保健衛生実施状況

- ・慢性疾患治療と重度化予防のため、内科医と精神科医の定期診察に加え、外部の整形外科及び歯科
による往診を継続した。
- ・心身の状況把握のため健康診断に長谷川式簡易知能評価スケールを依頼した。
- ・covit-19 等の感染予防のため手洗い、マスク着用を徹底し、異常の早期発見と対応に努めた。

（6）職員研修実施状況

- ・法令に則った事故防止等必要な施設内研修の実施と、Web による感染症対策等の法人研修に参加した。

（7）固定資産取得状況等（大規模修繕を含む）

- ・なし

（8）主要委員会

- ・事故防止・感染対策委員会(各12回)、身体拘束適正化・虐待防止検討委員会（各4回）、
行事委員会(12回)、広報誌（3回発行）

（9）事故発生状況

- ・事故報告（転倒6件、誤薬3件）9件、ヒヤリハット（転倒、尻もち、その他）47件

（10）苦情の状況等

- ・なし

（11）数値目標に対しての結果について

- ・毎月一日の定員80名確保が11月のみとなり、介護報酬の目標3,700万円も未達に終わった。
- ・一般入所者数平均60.5人は一般と特定の配分を調整し達成できた。

6. 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム(定員100名)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢						年度内入退所		年度内入院者	
		(年度末現在)						入所	退所	慈啓会	その他
男	15	最低	74	最高	92	平均	83	1	0	0	2
女	85	最低	68	最高	101	平均	87	10	11	7	22
計	100					平均	86	11	11	7	24

・平均稼働率 100%(毎月1日現在在籍数) 97.75%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×365日))

(2) 防災訓練実施 ①7月20日 ②10月26日(夜間火災検証訓練) ③2月24日(水害想定訓練)

(3) 行事・クラブの実施状況

・行事:園内喫茶(5回)、上映会(2回)、夏祭り、敬老会、ふれあい神社、節分甘酒会、ひなまつり会、サツドラ買い物デー、20周年記念式典+食事会、誕生会(毎月)

年忘れ会ごちそうの日、新年会ごちそうの日、土用丑の日ごちそうの日

・クラブ活動:ゲートボール(火曜)、書道(水曜)、カラオケ(第1・3金曜)、転倒予防(第2・4金曜)

・園芸(花・野菜作り) 5月～10月までの期間 10名

・運動クラブ(月1回)

(4) 給食の実施状況

・入居者の食事に関する情報は他セクションと共有し、委託業者との連携により速やかに対応した。

・食器洗浄機、老朽化した食器の更新により、厨房作業の効率アップと料理の見た目向上を図った。

・コロナ禍での楽しみの一つとなる企画として、月に1回「日本全国ご当地献立」を実施した。

(5) 保健衛生

・年2回の定期健康診断実施により、嘱託医とこまめに報告しあい、異常の早期発見に務めた。

又、他病院の受診時は適切にデータや診療情報等を提供することができた。

・集団感染のリスクや感染予防方法について、繰り返し懇談会等で入居者に説明周知を行った。

・発熱時、退院時等抗原検出キットを実施し、数日間の個室対応等感染防止対策を行った。

・入居者のノロウイルス、インフルエンザ・コロナウイルス等の感染症は発生しなかった。

・入居者家族、職員、職員家族等の体調不良の情報共有し早期発見に努め、感染症の発生を最小限に抑えた。

(6) 職員研修実施状況

・法人研修(10回)・職場内研修(11回)・外部研修(5回)

養護老人ホーム困難事例検討会・取組結果報告会、主任介護支援専門員更新研修、社会福祉法人会計基準実践的決算講習

(7) 固定資産取得状況等

・厨房トアタイプ洗浄機、医務室電子カルテ、火災通報装置、業務用洗濯機

(8) 主要委員会

・防災 3回(避難訓練の反省)	・給食 12回	・事故防止対策 4回	・研修 1回
・行事 12回	・苦情 0回	・感染症対策 15回	・広報 2回
・職員会議 12回	・身体拘束 4回	・虐待防止 4回	

(9) 事故発生状況

・転倒 9件(内 骨折3件) ・離脱 1件 ・誤薬 2件 ・その他 1件

(10) 苦情の状況等

・0件

(11) その他

① 町内会との交流状況

町内会との植栽活動 5月上旬 実施

コロナ禍のため、町内会から花苗の提供を受け職員入所者で植栽を実施。

② 近隣幼稚園・中学校・高校との交流や職場体験については、コロナ禍のため実施なし。

③ ボランティア活動(計0件 延人数:0名)

④ 社会貢献活動

地域のゴミ拾い活動 屋外活動であるため感染対策を行い6月10日～10月7日の期間で実施(計 5回 延参加人数:入居者 40名・職員 25名)

【数値目標に対しての結果について】

・待機者数目標を常時「15名」以上確保するとしたが、年間平均19.1名と目標数は確保できたが実質的待機者数となると「15名」を確保できなかった月もあるため、慈啓会養護と連携して、市内の区役所窓口、地域包括支援センター等にパンフレットと施設紹介文を送付しPR活動を行った。

・特定サービス収入を年間平均額「332万円」以上としていたが、343万9千円となり達成した。

7. ふれあいの郷 生活支援ハウス(定員20名)

(1) 利用状況等											
在籍者数		年齢						年度内入退所		年度内入院件数	
(年度末現在)(年度末現在)								入所	退所	慈啓会	その他
男	1	最低	74	最高	73	平均	73	0	0	0	0
女	17	最低	70	最高	89	平均	77.88	1	2	0	6
計	18					平均	77.39	1	2	0	6

・平均稼働率 92.08%(毎月1日現在在数) 91.73%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×365日))

(2) 防災訓練3回実施(養護と合同及びシュミレーション)

第1回. 7月20日 第2回. 10月26日(夜間想定検証訓練)

第3回. 2月24日(水害避難訓練)

(3) 行事・クラブの実施状況

- ・懇談会・開園20周年記念式典及び昼食会・ゲートボール(毎週1回)
- ・書道(毎週1回)・転倒予防体操(毎月2回)・食糧品等買い物日(毎週1回)
- ・園内喫茶(5回)・上映会(2回)・節分甘酒会
- ・園芸(花・野菜づくり)活動 4名

季節行事 ・お花見昼食会・夏祭り昼食会・敬老の日昼食会・忘年会・新年昼食会
・ひな祭り昼食会

(4) 給食の実施状況

入居者 1名体調不良にて自炊不可の為 提供

R5年1/23～2/16及び3/16～3/30

管理栄養士による栄養講和 3回

(5) 保健衛生

年2回健康診断を実施し、病気の早期発見、早期治療を心がけ健康維持に努めた。

季節型インフルエンザ・新型コロナ予防接種を3回行うほか、新型コロナウイルス対応を行なった。

(外出・クラブ活動の制限等については、感染状況等に合わせて緩和している。)

手指消毒・うがい・マスクの着用等の励行をお話しし感染予防対策を行う。

(6) 職員研修実施状況

法人職員研修 (10回) 内部研修 (11回) 外部研修 (0回)

(7) 固定資産取得状況等

なし

(8) 苦情の状況

懇談会や日常のコミュニケーション等で意見・要望を把握し対応しており、意見箱や苦情委員会に寄せられた苦情等は0件。

(9) その他

社会貢献活動

地域のゴミ拾い活動 屋外活動であるため感染対策を行い6月10日～再開 2回 2名参加

8. 慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型：定員80名）

(1) 利用状況

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低	57	最高	96	平均	79.7	入所	退所	慈啓会	その他	男	女
男	17	最低	67	最高	105	平均	90.0	29	36	23	17	3.71	3.94
女	63	最低	67	最高	105	平均	90.0	29	36	23	17	3.71	3.94
計	80					平均	87.8	39	41	30	24	3.89	

・年間平均稼働率 94.5 % (1年間の現在数(入院者・外泊者を除く)÷定員×365日)

(2) 防災訓練実施状況 ①10月(4施設合同*病院担当・防火):夜間想定 ②3月:夜間想定→書面

(3) 行事・クラブの実施状況

- ① 定期演奏会(札幌) ※コロナの影響で開催されず
イトーヨーカドーふれあいショッピング ※コロナの影響で商品配達方式
- ② 御施餓鬼法要 ※コロナの影響で開催されず
- ③ 地域交流・家族交流会等行事
夏祭り(特養拠点のみ施設内で実施)、敬老の日家族交流会(※コロナの影響で開催されず)
- ④ その他行事
(買物・食事外出) ※コロナの影響で開催されず
(散歩外出)敷地内の散歩にて随時花見等を小規模で実施
- (室内行事)納涼会・おやつ作り・茶話会・ハロウィン・七夕レク・神社レク・大人の塗り絵
宝引レク・節分

(4) 給食の実施状況

- ① 入所の誕生会食、行事食の提供(クリスマス、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)
- ② 褥瘡ケア、排泄ケアとして補助食品を用意し必要な場合に随時提供
- ③ 厨房設備の点検修理(フードプロセッサ、食器洗浄機)
- ④ 多職種連携により、適切なマネジメントのもと、各種加算の算定に努めた

(5) 保健衛生

- ① 新型コロナウイルス感染症対策において、最新の情報収集を心掛け、体制整備と環境整備に向けた取り組みを実施した。また、感染予防具や備品等の追加・整備、消毒機器の増設など必要箇所に対して更なる感染対策を実施してきた。
- ② 家族面会については、感染症対策を徹底した上で、可能な限り対面での面会を実施した。

(6) 職員研修実施状況

内部研修では事故防止・感染症・排泄ケア・認知症ケア・身体拘束虐待防止・褥瘡予防に関する講習会等
外部研修には老人福祉施設研究大会、社会福祉法人の社会貢献研修会等、コロナの影響でZOOMでの参加が多かった

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

GHPエアコン2期工事 / リフト付シャワーキャリー装置(本館3階Aユニット・本館4階Aユニット)

(8) 主要委員会の実施状況

(定例開催) 職種会議、事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会
研修委員会、入所検討委員会ほか

(9) 事故発生状況(ユニット型・従来型合計)

転 倒		転 落		すり落ち		外 傷		誤 嚥		異 食	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
25	21	6	3	9	20	10	6	2	0	0	2
離棟離設無断外出		熱傷・凍傷		暴力・暴言		誤薬		その他		合 計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
2	1	0	0	1	0	11	0	27	25	93	78

A=アクシデント I=インシデント

札幌市報告対象の事故

ユニット型	14
従来型	7

(10) 苦情の状況等

0件

(11) その他

- ① ボランティア コロナの影響で外部開放なし
- ② 世代間交流 コロナの影響で外部開放なし
- ③ 見学 コロナの影響で外部開放なし
- ④ 実習・体験学習 養成校の実習生については、通所事業のみ受け入れを可能として、リハビリ養成校の3校15名の
実習生受け入れを行った。
- ⑤ 木洩れびの家 6月～開放再開 ・ コロナ使用中止(8/8～9/11、10/27～11/10)

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	0	0	0	1	0	1	0	2	1	2	0	0	7
家族	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	7	10
職員	0	0	16	7	6	8	2	2	9	10	5	2	67
実習生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一 般	0	0	48	27	5	18	39	44	63	39	41	42	366
合 計	0	0	64	35	11	27	42	48	74	51	47	51	450

(12) 数値目標

(目標) 稼働率97.0%、平均介護度3.95 → (実績) 稼働率94.8%、平均介護度 3.89 = 稼働率 -2.2%未達成、介護度 -0.06未達成

9. 慈啓会特別養護老人ホーム（従来型:定員70名）

(1) 利用状況

介護度 (年度末現在)	
男	3.70
女	3.95
平均	3.92

・年間平均稼働率 95.3% (1年間の現在数(入院者・外泊者を除く) ÷ 定員 × 365日)

(2) 防災訓練実施状況

①10月(4施設合同*病院担当・防火):夜間想定 ②3月:夜間想定→書面

(3) 行事・クラブの実施状況

- ①定例行事 定期演奏会(礼響)※コロナの影響で開催されず
イトーヨーカドーふれあいショッピング ※コロナの影響で商品配達方式
- ②季節行事 御施餓鬼法要 ※コロナの影響で開催されず
- ③地域交流・家族交流会等行事 夏祭り(特養拠点のみ施設内で実施)、敬老の日家族交流会(※コロナの影響で開催されず)
- ④その他行事 (買物・食事外出)※コロナの影響で開催されず
(散策外出)敷地内の散策にて随時花見等を小規模で実施
- (室内行事)納涼会・おやつ作り・茶話会・ハロウィン・セタレク・神社レク・大人の塗り絵
宝引レク・節分

(4)給食の実施状況

- ①入所の誕生会食、行事食の提供(クリスマス、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)
- ②褥瘡ケア、排泄ケアとして補助食品を用意し必要な場合に随時提供
- ③厨房設備の点検修理(フードプロセッサ、食器洗浄機)
- ④多職種連携により、適切なマネジメントのもと、各種加算の算定に努めた

(5) 保健衛生

- ①新型コロナウイルス感染症対策において、最新の情報収集を心掛け、体制整備と環境整備に向けた取り組みを実施した。また、感染予防具や備品等の追加・整備、消毒機器の増設など必要箇所に対して更なる感染対策を実施してきた。
- ②家族面会については、感染症対策を徹底した上で、可能な限り対面での面会を実施した。

(6) 職員研修実施状況

内部研修では事故防止・感染症・排泄ケア・認知症ケア・身体拘束虐待防止・褥瘡予防に関する講習会等
外部研修には老人福祉施設研究大会、社会福祉法人の社会貢献研修会等、コロナの影響でZOOMでの参加が多かった。

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

木洩れびの家シャワーユニット設置 / ルームエアコン(木洩れびの家) / 大型吸引器2台

(8) 主要委員会の実施状況

(定例開催) 職種会議・事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会
研修委員会、入所検討委員会ほか

(9)事故発生状況 (ユニット型・従来型合計)

札幌市報告対象の事故

ユニット型	14
従来型	7

A=アクシデント I=インシデント

(10) 苦情の状況等

0件

(11)その他

- | | |
|----------|--|
| ①ボランティア | コロナの影響で外部開放なし |
| ②世代間交流 | コロナの影響で外部開放なし |
| ③見学 | コロナの影響で外部開放なし |
| ④実習・体験学習 | 養成校の実習生については、通所事業のみ受け入れを可能として、リハビリ養成校の3校15名の
実習生受け入れを行った。 |
| ⑤木洩れびの家 | 6月～開放再開　・　コロナ使用中止(8/8～9/11、10/27～11/10) |

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	0	0	0	1	0	1	0	2	1	2	0	0	7
家族	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	7	10
職員	0	0	16	7	6	8	2	2	9	10	5	2	67
実習生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一 般	0	0	48	27	5	18	39	44	63	39	41	42	366
合 計	0	0	64	35	11	27	42	48	74	51	47	51	450

(12) 数值目標

(目標) 稼働率97.0%、平均介護度3.95 → (実績) 稼働率94.9%、平均介護度3.92 = 稼働率-2.1%未達成、介護度 -0.03未達成

10. 慈啓会短期入所生活介護事業所(ユニット型:定員10名)

(1) 利用状況等

	利用のべ人数	利用のべ日数	平均利用日数	利 用 者 介 護 度								
				支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	申請中等	計
男	91	759	8.34	0	8	9	46	14	4	10	0	91
女	264	2,339	8.86	3	4	79	43	88	44	3	0	264
計	355	3,098	8.73	3	12	88	89	102	48	13	0	355

(2) 食事数及び送迎状況

送迎回数			食事数			
迎 え	送 り	合 計	朝 食	昼 食	夕 食	合 計
474	473	947	2,529	3,051	2,546	8,126

(3) 防災訓練実施状況

①10月(4施設合同*病院担当・防火):夜間想定 ②3月:夜間想定→書面

(4) 行事・クラブの実施状況

夏祭り(特養拠点のみ施設内で実施)、敬老の日家族交流会(※コロナの影響で開催されず)
(室内行事)納涼会・おやつ作り・茶話会・ハロウィン・セタレク・神社レク・大人の塗り絵

(5) 給食の実施状況

-
- ①入所同様誕生会食、行事食の提供(クリスマス、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)、おやつレクの実施
②療養食加算の算定
③厨房設備の点検修理(フードプロセッサー、食器洗浄機)

(6) 保健衛生

- ①新型コロナウイルス感染症対策において、最新の情報収集を心掛け、体制整備と環境整備に向けた取り組みを実施した。また、感染予防具や備品等の追加・整備、消毒機器の増設など必要箇所に対して更なる感染対策を実施してきた。
②家族面会については、感染症対策を徹底した上で、可能な限り対面での面会を実施した。

(7) 職員研修実施状況

内部研修では事故防止・感染症・排泄ケア・認知症ケア・身体拘束虐待防止・褥瘡予防に関する講習会等
外部研修には老施協研究大会、社会福祉法人の社会貢献研修会等、コロナの影響でZOOMでの参加が多かった。

(8) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

なし

(9) 各委員会等の実施状況

(定例開催) 職種会議、事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会
研修委員会、入所検討委員会ほか

(10) 事故発生状況

転 倒	転 落	ずり落ち	外 傷	誤 嚥	異 食
A I	A I	A I	A I	A I	A I
6 7	1 0	0 0	1 0	0 0	0 0
無断外出	凍 傷	暴 力	誤 薬	その他	合 計
A I	A I	A I	A I	A I	A I
1 0	0 0	0 0	0 0	1 1	10 8

A=アクシデント I=インシデント

札幌市報告対象の事故

短期	1
----	---

(11) 苦情の状況

なし

(12) 数値目標

(目標) 稼働率80.0% → (実績) 稼働率 84.9% = +4.9% 達成

11. 慈啓会デイサービスセンター(一般型)

〔1〕 利用状況（令和5年3月末日現在）

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
実人員	11	15	46	20	11	5	1	109
延利用数	528	1212	3549	1805	703	251	68	8,116

〔2〕年度内新規・廃止利用者

〔3〕年齢(令和5年3月末日現在)

〔4〕稼働率

	合計
新規利用者	51
廃止利用者	43

	在籍者	最低	最高	平均
男	23	69	98	89
女	86	63	103	87
合計	109			88

	平均／定員	稼働率
一般型	26.3人／35名	75.0%

新規内訳	
慈・居宅	21
2包	2
3包	9
他事	19

廃止内訳	
施設入所	13
入院継続により打ち切り	9
逝去	4
転居	1
他サービス利用	8
その他	8

〔5〕 苦情数・事故数

苦情数 - 0 件

事故数 - 19 件

〔6〕行事の実施状況

誕生会(毎月1週間)・風呂の日(毎月第4週目の1週間)

・5月 茶話会

・7月夏祭り 9月 敬老週間

・10月 味覚祭 ・12月 クリスマス会

・1月 新年会

<毎月>

・月替わり体操&ゲーム(毎日) ・個別機能訓練(毎日)

〔7〕行事食の実施状況

・誕生会食 ・夏祭り ・敬老会食 ・クリスマス会食・ 新年会(鍋)、節分食、ひな祭り食、開設記念食

〔8〕実習生受け入れ状況

・介護福祉士等実習生 0名/介護等体験職場実習 0名

(9)数値目標

(目標) 稼働率80.0% → (実績) 稼働率75.0% = 稼働率 -5.0%未達成

12. 慈啓会訪問介護

令和4年度

1. ホームヘルパー数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤ヘルパー	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
登録ヘルパー	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
合 計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

2. 利用人員と要介護度別利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	平均実人員
	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数
要支援 1	30	30	32	31	29	29	27	27	26	24	25	27	28
	130	133	140	133	130	118	96	112	98	86	90	111	1,377
要支援 2	28	28	28	29	29	30	34	35	37	39	39	39	33
	127	142	138	140	143	161	165	176	176	172	179	211	1,930
要介護 1	17	18	17	17	14	10	12	11	11	11	12	11	13
	101	107	100	92	66	53	55	53	53	50	54	55	839
要介護 2	7	8	5	8	8	9	9	9	9	9	8	8	8
	45	53	56	54	57	56	61	56	57	58	49	60	662
要介護 3	3	3	3	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2
	19	19	17	12	12	11	14	15	13	14	13	8	167
要介護 4	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1
	13	12	17	9	5	4	0	0	0	0	0	0	60
要介護 5	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	2
	19	22	22	20	22	20	17	17	17	15	8	8	207
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
合 計	91	93	91	93	86	84	87	87	88	88	88	88	89
	457	490	492	462	437	425	410	431	416	397	395	455	5,267

3. 派遣内容別件数（延件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均件数
総合事業相当型	261	281	278	271	273	280	267	290	276	259	275	322	278
身体介護	41	40	40	38	31	31	29	26	26	25	18	22	31
生活援助	61	72	81	69	62	60	58	60	59	57	54	61	63
身体生活	90	90	85	75	63	48	51	49	51	48	48	42	62
合 計	453	483	484	453	429	419	405	425	412	389	395	447	433

4. 研修・会議等の実施

・月1回の定例スタッフミーティング、研修等実施状況

	内部研修	主な外部研修
4月	昨年度の振り返りと今年度の研修について	
5月	プライバシーの保護	
6月	倫理・法令遵守	虐待・身体拘束・行動制限の防止について
7月	非常災害時の対応	メンタルヘルス研修
8月	医療的理解①高齢者の身体の変化	
9月	医療的理解②バイタルサインを知ろう	安全運転（アルコールチェック等について）
10月	医療的理解③生活場面で行う観察	分かりあいと分ちあいを生み出すコミュニケーション
11月	ターミナルケア	
12月	精神的ケア	新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行について
1月	食事・栄養ケア	虐待事件の概要及び防止について
2月	口腔ケア	現場で発生する事故について
3月	1年間を振り返る	成年後見制度の実際

・自己研鑽のための研修参加 : 特養内部研修参加

4. 数値目標

（目標）利用者実績の平均人数 95人 → （実績） 89人 = 未達成

13. 慈啓会介護総合相談センター

(1)ケアプラン作成者件数

年間平均
142.8人 (令和5年3月末日現在)

(2) 契約者推移

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者		5	4	4	12	5	6	3	4	2	5	3	3	56
解約者		1	3	4	0	1	5	4	0	1	1	5	3	28
内 訳	死 亡	1	0	2	0	0	1	2	0	1	0	2	2	11
	入 院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入 所	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	3	1	9
	転 居	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	変 更	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	包括移行	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	小規模多機能	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
契約者合計		203	204	204	216	220	221	220	224	225	229	227	227	

(3)ケアプラン作成者 (利用票・提供票作成者)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要 介 護 1	73	74	77	82	85	81	83	80	81	79	83	79	957
要 介 護 2	36	33	33	34	34	28	34	29	29	30	24	26	370
要 介 護 3	22	21	21	21	19	19	20	25	24	20	22	19	253
要 介 護 4	9	8	8	9	7	7	8	6	5	4	5	9	85
要 介 護 5	4	3	4	4	5	5	5	5	4	3	3	3	48
合 計	144	139	143	150	150	140	150	145	143	136	137	136	1,713

(4)要介護認定申請代行

(5) 相談経路

新規申請	更新申請
3	92

電話(夜間・祝日)	来 所	訪 問	合 計
957 (75)	19	1,827	2,803 (75)

(6)活動状況

①情報伝達会議・研修

会議	45
研修	10

②サービス担当者会議

210

(7) 予防支援事業

[illegible]

14. 介護予防センター旭ヶ丘

(1) 総合相談支援業務

【総合相談】

① 相談件数

電話	訪問	面談	その他	計
72	0	2	2	76

② 相談内容(重複あり)

介護保険制度	介護予防	保険福祉サービス	高齢者虐待	消費者被害	権利擁護	認知症	心身の健康	家族の疾病
27	48	1	0	0	0	3	1	1
医療	住まい	その他						
0	2	4						

③ 相談結果

継続支援へ	介護予防教室参加	地域介護予防活動参加	介護保険申請	包括紹介	関係機関紹介	終結
10	33	0	0	18	2	13

【地域ケア体制の構築】

地区地域ケア会議(運営主体)	2回
区地域ケア推進会議(運営主体)	0回
地区連絡会議(運営主体)	12回
区連絡会議(運営主体)	11回
専門職との連携	3回
医療機関との連携	0回
地区組織との連携	14回
その他関係機関との連携(中央区介護予防C連絡会含む)	47回
生活コーディネーターとの連携	1回

(2) 介護予防普及啓発業務

① 事業別実施件数

介護予防教室	研修会	相談会	広報物の発行	文書や通信での支援	計	参加者延数
97	0	0	4	0	101	2460

(3) 地域介護予防活動支援業務

① 介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援

民児協	福まち	町内会組織	老人クラブ	サロン	自主グループ	その他	計	参加者延数
0	0	1	11	17	96	0	125	1572

(4) 自主活動化支援事業

開催回数	参加者数	内容
2	21	技術指導・交流会

(4) 専門職と連携した介護予防機能強化業務

新規立ち上げ支援箇所数	既存団体支援箇所数
1	10

(5) 数値目標

(目標) 委託契約書に記載の事業実施回数目安の達成

- ① 介護予防教室/地域活動組織の育成及び支援 (目標) 48回 → (実績) 222回 = 達成
- ② 自主活動化支援事業 (目標) 2回 → (実績) 2回 = 達成
- ③ 地区地域ケア会議 (目標) 1回 → (実績) 2回 = 達成
- ④ 専門職との連携 (目標) 4回 → (実績) 10回

(6) その他

- ・研修会 市内介護予防センターとの学習会 3回 専門職との研修会 (リハ2回 栄養1回 口腔1回)
- 札幌市主催 介護予防のあり方研修会
- 札幌市主催 ファシリテーター研修会

15. 札幌市稲寿園 特別養護老人ホーム(定員100名)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低	76	最高	92	平均	83.9	入所	退所	慈啓会	その他	男	3.91
男	12	最低	76	最高	92	平均	83.9	7	10	7	11	男	3.91
女	89	最低	71	最高	107	平均	88.8	22	17	17	23	女	3.80
計	101					平均	88.2	29	27	24	34	平均	3.81

・平均稼働率 95.7% (R3年度 90.1%)
【説 令和4年度の平均稼働は、95.7%の稼働(前年よりも+5.6%)と目標に対して1.3%下回った。特に7月のクラスターでは83.9%の稼働率となり大きく影響を及ぼした。9月以降は97%を超える稼働率で、下半期の平均稼働率は97.8%と目標値を上回っている。

(2) 防災訓練実施状況

1. 3月23日(自衛消防訓練)、3月30日(防災訓練・夜間想定)

(3) 行事・クラブの実施状況

- 全体行事
9/15敬老行事、9/19手稲神社例大祭、12/23クリスマス、12/26もちつき、1/11獅子舞・おみくじのみ。2/3節分、3/3ひな祭りを開催
- 地域交流・家族交流会等行事
コロナ感染拡大により実施できず。
- ユニット行事
・お茶会(ハロウィン)
・誕生会

(4) 給食の実施状況

コロナ感染対応を含む日々の食事提供は、他セクションとの連携のもと、臨機応変な対応で事故なく行うことができた。

(5) 保健衛生

コロナクラスターの経験を得て、施設内でのケア時、エプロン・ゴーグル標準装備と手指消毒の徹底継続。
体調変化や発熱の有無の観察の為、1日2回の検温施行。発熱が確認された場合は、指示の検査キットを使用し、必要に合わせて、迅速に居室での感染対策開始。症状出現の有無の観察を行い、体調不良の早期発見に努める事ができた。10月～オミクロン対応コロナワクチン・インフルエンザワクチンを、順に施行。また、数名疥癬罹患あり。すぐに臨時の感染対策の委員会を開催し、感染拡大せず収束できた。発熱での現場の混乱や不安を取り除くためにも、Dr指示を確認し、現在は、37.5℃以上で、インフルエンザ検査・コロナ抗原検査も行う事ができるようになっている。往診医と連携をはかりながら、次年度も感染症を持ち込まない・広げない・最小限にとどめられるよう努めていく。

(6) 機能訓練

令和4年度は、コロナウイルス感染による入居者の居室隔離期間が何度かあり、居室内・ベッド上で過ごす時間が長く、認知機能・身体機能低下をきたすケースがみられた。身体機能面では時間をかけて回復傾向がみられたが、認知機能面については回復が難しく、またそのことから食事摂取機能・能力が低下したケースがあると思われる。心身機能・認知機能面で回復が難しいケースについては、そのケースの残存能力を活かした、環境整備や介助方法のアドバイス等を実施。方法の統一化が図れなかったこと、継続できなかったケースがあるため、課題として残ってしまった。今後は定期的に確認等を行ない解消していく。

(7) 職員研修実施状況

令和4年 4月26日 高齢者施設を対象とした新型コロナウイルス感染防止研修会、5月25日 札幌市・石狩市・老人福祉施設職員合同研修会、8月24日北海道高齢者虐待防止推進研修会(施設編)、10月22日 認知症ケアにおけるコミュニケーション力に関する研修……等 42件

(8) 委員会等の開催

- ・各部署会議:毎日のミーティング、情報共有会議
- ・各委員会:行事・給食委員会、衛生・感染対策防止委員会、身体拘束廃止・虐待防止・事故防止委員会、自立支援・重度化予防対策(接遇・活動、入浴、排泄、食事・口腔ケア)委員会、入所検討委員会
- ・カンファレンス:定期開催、臨時開催(都度)
- ・サービス提供に努めた
- 定期開催委員会(毎月・隔月)
情報共有会議(1回/月)、各委員会(1回/月)、カンファレンス(プラン更新時、不定期開催は随時)
※コロナ感染発生者がいた場合には書面開催にて実施

(9) 固定資産取得状況等

- ・固定資産取得・・・PCサーバー
- ・修繕・・・廊下照明機器、エアコン、デイスサービス浴室床版、1フロア休憩室床版

(10) 事故発生状況

転倒、転落:59件、皮膚変色、出血:25件、誤薬:2件、異食:3件、誤嚥:0件、他:4件 合計:93件

(11) 苦情の状況等

今年度はなし。

(12) その他

- ①ボランティア コロナ感染予防対策により受け入れしておらず
- ②交流 コロナ感染予防対策により受け入れしておらず
- ③実習・体験学 北翔大学:2名、日本総合研究所:1名、札幌学院大学:1名

(13) 数値目標

(目標)稼働率 (目標)稼働率 97.0%、→ (実績)稼働率 95.7%
= 稼働率 -1.3% 未達成

16. 稲寿園短期入所生活介護事業所(定員10名)

(1)利用状況等

	利 用 総人数	利 用 総日数	平 均 利用日数	利 用 者 介 護 度								送迎 回数	食 事 数		
				支1	支2	1	2	3	4	5	計		朝食	昼食	夕食
男	80	703	8.79	0	0	12	8	36	24	0	80	629	2,224	2,587	2,270
女	179	1,902	10.63	0	0	14	49	70	29	17	179				
計	259	2,605	10.06	0	0	26	57	106	53	17	259				

・月平均稼働率 71.4% (R3年度 54.1%)

【説明】 令和4年度は、6～8月のクラスターにより稼働率は大きく低下したが、年間の平均稼働率は71.4%と目標(10月以降75%に変更)を3.6%下回った。
ロングショートの受け入れ(基本4件の受け入れを実施)や、利用予定日を3ヶ月先まで計画、事前にCMへ打診したことにより虫食いを減らすことができ稼働率が向上したと考えられる。

(2)防災訓練実施状況		}	特養と同内容のため省略
(3)行事・クラブの実施状況			
(4)給食の実施状況			
(5)保健衛生			
(6)職員研修実施状況			

(7)固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)
なし

(8)事故発生状況
転倒・転落 5件、アザ・出血1件、誤薬2件、異食0件、誤嚥・誤飲0件 計8件
札幌市報告件数:1件

(9)苦情の状況等
1件(令和5年3月24日受付:ショートステイ利用者から、職員の対応に対しての苦情を受けつける。)

(10)その他 特養と同内容のため省略

(11)数値目標
(目標)稼働率 75%(10月以降75%に変更)→ (実績) 71.4%
= -3.60% 未達成

17. 稲寿園デイサービスセンター

(1) 利用状況等

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	
開設日数		26日	26日	26日	22日	27日	26日	26日	17日	25日	24日	24日	27日	296日	310日	
予防通所登録者数		21	19	17	17	20	18	18	16	16	16	18	18			
予防延利用者数		95	87	68	60	63	73	86	54	90	88	85	112	961	1,048	
予防平均利用者数		3.7	3.3	2.6	2.7	2.3	2.8	3.3	3.2	3.6	3.7	3.5	4.1	3.2	3.4	
通所介護登録者数		70	72	69	65	63	65	65	62	62	65	66	70			
通所介護延利用者数		451	434	392	297	369	411	425	240	395	409	408	510	4,741	4,491	
通所平均利用者数		21.0	20.0	19.1	16.2	16.0	18.7	19.7	17.9	19.4	20.7	20.5	22.5	19.3	18.0	
利用者数内 訳	要支援	1	22	22	17	19	20	21	13	11	14	17	11	14	201	311
		2	73	65	51	41	43	52	73	43	76	71	74	98	760	737
	要介護	1	226	221	204	157	205	236	234	137	234	222	246	310	2,632	2,091
		2	102	103	98	69	73	85	91	45	73	86	66	83	974	1,335
		3	106	95	75	58	75	70	83	49	72	88	82	101	954	877
		4	15	11	10	9	12	17	13	7	12	10	10	11	137	146
		5	2	4	3	4	4	3	4	2	4	3	4	5	42	42

【説明】

- ① 予防と一般を含めた年間を通しての1日の平均利用者数は19.3人であった。(昨年度より1.3人↑)
- ② 7月と11月のコロナによる閉鎖が業績を下げる要因の一つであった。
- ③ 令和4年度は新規登録者が51名、廃止は39名であった(令和3年度は新規26名、廃止28名)。
廃止が昨年度より増えたが、新規登録者も2倍。体験者数の増加と獲得率向上が12月以降の回復要因。
- ④ 4月から11月までの感染予防を原因とする休止者(自宅療養者を除く)は平均25.0%(s20.3)とばらつき顕著だが、12月からは平均7.3%(s3.3)と感染が極めて落ち着いていることが見受けられる。
(令和5年3月が今年度の最低値3%)
安定して予定の利用者が来所して下さったことが12月から徐々に回復の要因
∴ ③～④今年度の稼働率平均は60.4% 12月からは平均以上を維持している。
- ⑤ SSでの休みは平均22.8%(s5.9)感染閉鎖の11月を除いての数値は平均24.2%(s4.1)
デイサービス実利用登録者の9名がSS利用。稲寿園以外のご利用は3名
休み理由の1/4はSSによるもの。
登録人数から最大1/4は休みとして想定しておく必要がある(登録平均33.3人)
- ⑥ LIFE科学的介護推進評価加算・個別訓練加算・ADL維持加算も算定継続
- ⑦ サービス提供体制強化加算取得(Ⅰ)に必要な介護福祉士資格取得者70%以上は令和4年度平均70.5%で
かろうじてOK。令和5年4月は64%と下回っているが、R4年9月～R5年3月の平均が77%であり、年間平均で
令和5年度は現状算定可能と思われる。(令和6年度に継続できるかは不明)
∴ 要支援1 72単位/月⇒88単位/月 要支援2 144単位/月⇒176単位/月 要介護 18単位/回⇒22単位/回
の増額が認められる
(令和4年3月例:要支援1 4名×16 要支援2 12名×32 要介護利用回数519×4 で合計2524単位の増額)

(2) 防災訓練実施状況【1回】

- ① 3月30日(木)

(3) 行事実施状況

- 誕生会は毎月実施したが、花や記念品(写真撮影)の贈与のみの実施としている。
 - 屋外レクリエーションやカラオケも感染対応として今年も中止している。(DVD鑑賞のみ)
 - 給食協力によるお楽しみの御膳及びパンセレクト、花見・敬老・クリスマス等の特別メニューの提供は変わらず行っており変わらず好評。介助を要する方は昨年同様。イベント・レクリエーションとしての手作りおやつやお茶会(抹茶):新企画は大好評であったと考えている。
 - ゲームや職員の出し物等は、座位での参加は継続しているが、今年度はエンターテナー性を重視した衣装やCWの工変化のある内容で提供できている
- ※基本、昨年に引き続き、屋外行事は新型コロナウイルス蔓延の為、全て中止しているが、令和5年度は状況を見て再開4月末の「桜の木の下撮影会」実施。

(4) 給食の実施状況

デイサービス単独の給食委員会でご要望をお伝えし、委託会社、管理栄養士の協力を頂きながら、四季折々の季節感のある食材を使用し、彩りや盛りつけを工夫した食事の提供を心掛けた。
普段のおやつにも、生クリームやミックスカラスプレー等で見た目よく提供するようにしている。

(5) 研修実施状況

- 事故防止研修 感染予防研修 虐待防止 認知症理解等

(6) その他

- 青色パトロールとして「手稲鉄北まちづくり協議会」部会員としての活動を継続している。
手稲警察から「活動していないのでは?」との指摘があったが、実際活動している。
- ボランティア実績は今年もなし。入浴補助(ドライヤーかけ・誘導等)やレクリエーション補助等、身体接触が可能になったらお願いしたい。
- 現状、最多の利用人数29人/日、運転手・助手の不足。入浴の人員欠如あり。

(7) 固定資産取得状況等

- なし

(8) 数値目標

(R4年度目標)平均利用者数 22.0名/日、年間稼働率 68.75% (実績)平均利用者数 19.3名/日、年間稼働率 60.3%
= 平均利用者数 -2.7名/日 未達成、年間稼働率 -8.5%未達成

18. 稲寿園訪問介護

(1) 月別派遣状況等(前年度比較)

派遣回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	203	263	297	304	326	364	342	332	388	336	356	459	3,970
令和3年度	154	142	148	156	163	187	196	183	175	171	174	214	2,063
増減	49	121	149	148	163	177	146	149	213	165	182	245	1907

派遣時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	186.0	248.0	277.0	283.0	286.0	321.0	281.0	280.0	327.0	299.0	320.0	417.0	3,525.0
令和3年度	144.0	126.8	130.5	134.2	127.1	161.6	175.1	164.8	171.2	161.7	166.2	199.5	1,862.7
増減	42.0	121.2	146.5	148.8	158.9	159.4	105.9	115.2	155.8	137.3	153.8	217.5	1662.3

(2) 介護度別利用者状況

令和4年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援	1	4	5	7	8	11	11	12	12	10	11	10	13	114
	2	5	5	5	6	9	13	17	17	18	19	20	21	155
要支援計		10	11	13	15	21	25	30	30	29	31	31	35	281
要介護	1	13	14	11	11	14	20	17	17	17	17	21	22	194
	2	4	4	5	4	5	4	5	4	4	5	6	6	56
	3	4	5	5	3	3	4	3	3	4	3	3	4	44
	4	2	2	2	2	2	3	4	3	3	2	2	2	29
	5	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
要介護計		23	26	24	21	25	31	29	27	28	27	32	34	327
合 計		33	37	37	37	46	46	59	57	57	58	64	69	600

(3) 職員研修・カンファレンス状況

- ① 定期研修 : 毎月1回実施
- ② カンファレンス : 毎月1回実施

(4) 前年度 数値目標

月の目標派遣回数 330回以上、月の登録件数50件 →(実績)派遣回数 459回、登録件数 69件
 = 派遣回数 +159回 達成、登録件数 +19達成

(5) 今年度 数値目標

月の目標派遣回数 350回以上、月の登録件数60件

19. 稲寿園介護総合相談センター

(1) 相談対応方法

【説明】 7.8月は感染症流行と法人内移動のためCMが一名減、ご利用者も事業所変更有、訪問件数が減。年明けから増加。

(単位:人)

令和 04 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
内 訳	訪問	180	189	149	139	156	167	166	159	148	152	185	189	1,979
	来所	4	3	1	1	0	2	0	0	1	0	2	0	14
	電話	121	119	139	118	91	106	134	98	140	112	149	132	1,459
合 計		305	311	289	258	247	275	300	257	289	264	336	321	3,452

(2) 契約者推移

【説明】 令和3年度は年間通して41件の契約数だったが、令和4年度は倍増の80件の契約を締結することができた。

(単位:人)

令和 04 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
新 規 契 約 者		5	7	6	3	4	6	6	7	6	4	20	6	80
解 約 者		1	0	0	2	2	1	5	4	1	2	5	3	26
内 訳	死 亡	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3
	長期入院	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3
	入 所	1	0	0	1	0	0	2	1	0	2	1	1	9
	転 居	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3
	事業所変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	包括移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	その他	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	3
契 約 者 合 計		222	169	175	174	176	181	182	185	190	192	207	210	

(3) 相談経緯・件数

【説明】 手稲区内の第一第二包括支援センターとの繋がりを強固にし相談件数も前年度57、令和4年度は105件の紹介あり

(単位:人)

令和 04 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
手稲区第1包括		0	3	0	1	1	0	6	2	2	0	2	3	20
手稲区第2包括		3	2	2	3	4	1	4	5	4	7	3	2	40
中央区第2包括		5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
中央区第3包括		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本人・家族		2	3	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	9
病院		1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	5
他事業所		0	0	0	0	2	2	2	1	0	15	2	1	25
合 計		11	9	4	4	9	5	12	9	7	22	7	6	105

(4) 月別利用者数

【説明】令和3年度の月平均の請求件数が要介護120.8人だったが、令和4年度は平均131.5人の請求数。要支援認定者も含めると令和3年が141.9人、令和4年度が149.5人の請求数に増加。

(単位:人)

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援1	R04年度	6	8	8	6	6	5	5	5	5	6	6	8	74
	R03年度	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	89
要支援2	R04年度	14	13	14	10	11	11	11	12	10	11	12	14	143
	R03年度	15	15	13	11	12	12	14	13	12	12	11	11	151
要介護1	R04年度	67	68	71	65	66	64	61	61	66	68	65	76	798
	R03年度	62	59	61	63	61	60	63	63	60	65	70	67	754
要介護2	R04年度	32	32	31	30	29	35	35	32	34	35	38	40	403
	R03年度	33	31	35	35	35	33	37	35	32	31	35	34	406
要介護3	R04年度	20	22	23	21	23	22	21	22	18	18	18	17	245
	R03年度	17	17	19	19	16	16	17	19	20	18	18	21	217
要介護4	R04年度	4	6	8	7	7	9	7	9	9	7	7	7	87
	R03年度	4	6	4	4	3	3	5	6	5	5	4	6	55
要介護5	R04年度	4	5	6	5	4	3	3	3	3	3	3	3	45
	R03年度	2	2	2	2	1	2	3	3	3	3	3	3	29
合 計	R04年度	147	154	161	144	146	149	143	144	145	148	149	165	1,795
	R03年度	141	138	142	142	136	133	146	146	139	141	148	149	1,701

(5) 研修会等出席状況

他法人、区内包括支援センターとの事例検討に参加を通して事業所同士の顔の見える関係作り、情報共有のできる関ができ地固めの年度となった。他法人とは4回の事例検討、包括支援センター主催の事例検討には6回参加している。

(6) その他

令和04年度特定事業所集中減算は前期、後期ともに指摘事項、減算なし

20. 輕費老人ホ一ムA型札幌市菊寿園（定員50名）

(1)利用状況等

	在 籍 者 数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
		最低		最高		平均		入所	退所	慈啓会	その他
男	7	最低	70	最高	95	平均	71.9	1	2	1	2
女	22	最低	70	最高	99	平均	83.4	2	4	1	5
計	29					平均	83.1	3	6	2	7

・平均在籍者数 30.3名 60.2% 平均介護度 1.03 (参考:令和3年度 0.87)

(2) 防災訓練実施状況

- ① 8月9日(三者合同訓練) ② 10月13日(昼間想定訓練)
③ 12月27日(夜間想定訓練) ④ 2月27日(資料配布による書面防災研修)

(3) 行事・クラブの実施状況

- ① 定 例：ラジオ体操(午前・午後各1回)、介護予防体操(週1回)、いきいきクラブ(週1回)
② 季節行事：6月すき焼きの日(個別)、12月クリスマスランチ、2月鍋の日(個別)

(4)給食の実施状況

給食時間 朝 7:30～ 昼 12:00～ 夜 17:30～

- ① ごちそうの日、セレクト食等の実施
- ② ADL低下者に配慮した思いやり対応(時間前の誘導、配下膳の一部介助)
- ③ 嗜好調査の実施

(5) 保健衛生

- ① 嘱託医による定期診察、定期処方及び臨時処方による治療。
- ② 施設内感染防止対策として、手洗い・うがい励行の啓発、環境の保清化、次亜塩素酸による各居室ドアノブ・手すり等の消毒、手指消毒液を玄関・食堂前に設置、適切な手洗いについて職員・利用者に説明会を実施。
- ③ インフルエンザ予防接種を積極的に行い、うがい・手洗い等で冬期間の風邪予防。
- ④ 月1回の血圧測定、2ヶ月に1回体重測定、年2回健康診断を行い健康保持。
- ⑤ 薬の自己管理が難しい場合、カレンダー薬や配薬で対応。
- ⑥ 認知症、ADL低下者への一時的な対応（洗濯・掃除・入浴の一部介助）。

(6) 職員研修実施状況

生活支援基礎研修(全軽協、オンライン開催)、軽費・ケアハウス合同研修会(老施協、オンライン開催)、
養護・軽費合同職員研修会(老施協)

(7) 固定資産取得状況等

置台型電気湯沸器・テレビ共聴設備（BS・CS放送アンテナ）

(8)修繕・大規模改修等

居室クロス・畳張替、パネルヒーター塗装、居室床修繕
乾燥室配管詰まり・漏水復旧、乾燥室点検口取付修繕他
浴室シーリング修繕

(9)その他

- ### ①アンケートによる満足度調査の実施

2 1. 拓寿園軽費老人ホーム（定員50名）

（1）利用状況等

在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年 度 末 現 在)							年 度 内 入 退 所		年 度 内 入 院 者	
								入 所	退 所	慈 啓 会	そ の 他
男	5	最 低	72	最 高	86	平 均	79.2	0	5	0	1
女	27	最 低	69	最 高	91	平 均	81.0	1	3	0	8
計	32						平 均	80.7	1	8	9

・平均稼働率 70.5%(毎月1日現在在籍数)

（2）防火訓練実施状況

1. 9月、3月の防災訓練は新型コロナウイルス感染予防の観点から北消防署の了解のもと中止した。

（3）行事・クラブの実施状況

・定例行事・クラブ活動・季節行事については感染予防のため中止した。

・その他

介護予防教室（月2回）、ふまねっと運動（月2回）、
買い物ツアー（月2回、最寄りのスーパーまで）

（そのほか、屯田地区ふれあい福祉週間輪投げ大会、日赤奉仕団園内清掃、きらく会ゲーム親睦大会
有朋高校生との交流会・夏祭りボランティア受入れ、屯田北児童会館の児童との交流会、
ふれあいの郷養護老人ホームとのゲートボール・カラオケ交流会、リンパマッサージ教室、
映画鑑賞会、健康歩こう会は感染予防のため中止）

（4）給食の実施状況

・なし

（5）保健衛生

- ・10月と3月の年2回、協力医（ふるや内科）で健康診断を実施した。
- ・新型コロナワクチンの接種は、札幌市の行う巡回接種を利用し施設内で行った。（7月・11月）
- ・要介護要支援認定者等に対して、担当ケアマネジャー及び各福祉医療機関との連携に努めた。
- ・インフルエンザ予防接種は、10月から11月にかけ、協力医又はかかりつけ医にて実施した。
- ・新型コロナウイルスや食中毒等の感染症予防のため、掲示物や書面配布等で啓発し注意喚起した。

（6）職員研修実施状況

・法人職員研修会等に参加

（7）固定資産取得・処分状況

・該当なし

（8）大規模修繕・改修

・暖房ボイラーポンプ取替え工事

（9）その他

- ・入居者アンケートによる満足度調査の実施：1月
- ・床ワックス清掃の実施（年2回）
- ・排水管清掃の実施（年2回）
- ・害虫点検（年2回）
- ・消防設備点検（年2回）
- ・感染予防対策として、外出から帰園後に玄関にてマスク交換を行っている。

23. 慈啓会病院

I. 基本方針

法人理念及び当院の理念に沿った、地域の方々に信頼される病院をめざし、医療サービスの更なる向上と経営安定を図ることを目的に運営した。

II. 重点目標

診療報酬改定や地域包括ケアシステムなどによる外部環境変化への対応を求められていることから、急性期以後において、エリアNo.1の医療サービスを提供するためにPDCAを推進し、目標達成を目指して事業展開した。また、コロナ禍が継続している状況の中で、アフターコロナ患者を積極的に受け入れ、稼働と単価の増加に努めた。

1. 病院経営について

- (1) 外来収入は、内科・精神外来ともに予算達成したが患者数は減少しており、コロナ検査等の単価増加で補っている。予防接種については新型コロナワクチン接種を積極的に実施し、対予算4,018千円のプラスとなったが、インフルエンザ予防接種については接種者数が減少し、418千円のマイナスとなった。施設外来は予算達成している。入院収入は、稼働の低下をアフターコロナの受入れ等による単価の増加でカバーした。11月に4階西病棟で1月に2階病棟でそれぞれ新型コロナ感染症によるクラスターが発生した。患者、職員あわせて約50名の陽性者が発生し、保健所の指導を受けながら感染防止対策に努め両病棟とも約1ヶ月で収束した。クラスターにより全館入院停止としたため稼働は減少したが陽性患者の治療による追加報酬のため、収入は予算を超えることができた。
- (2) 支出は、人件費については人材確保難が続いており、派遣や紹介料のコストが増加した。事業費については、マスク等診療材料の購入単価安定したため、備蓄量を減少させたが、上述のクラスター発生により一時的に使用量が増加した。光熱水費や燃料費は単価高騰により増加した。事務費は研修費や修繕費が減少した。
- (3) 収支については、外来・入院ともに予算を達成するとともに、コロナ補助金64百万などもあり、経常増減差額で対予算プラス78百万円となった。
- (4) コロナ禍が継続している中、10月と3月にPCR検査装置を補助金にて導入し、検査件数の増加に対応した。

2. 収支状況について

(1) 外来診療費収入(科別)

	予算		実績		予実差	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
内科外来	5,160	35,088	5,068	34,537	-92	-550,590
精神科外来	540	2,592	557	2,629	17	36,560
健診・ドック	2,832	21,120	3,701	20,831	869	-289,437
予防接種	1,998	6,966	6,002	16,363	4,004	9,397,073
施設外来	20,136	45,012	20,526	48,101	390	3,089,340
その他	1,560	6,654	1,619	9,238	59	2,583,595
	32,226	117,432	37,473	131,699	5,247	14,266,541

(2) 入院収入(病棟別)

	予算		実績		予実差	
	稼働(床)	金額(千円)	稼働(床)	金額(千円)	稼働(床)	金額(千円)
2F	42.0	386,231	37.9	399,087	▲ 4.1	12,856
3F	34.0	388,473	28.3	393,122	▲ 5.7	4,649
4西	41.0	327,855	37.6	320,510	▲ 3.4	▲ 7,345
4東	42.0	270,541	34.4	261,495	▲ 7.6	▲ 9,046
5F	50.0	283,176	40.0	284,546	▲ 10.0	1,370
過誤査定		▲ 480		▲ 1,516		▲ 1,036
	209.0	1,655,796	178.2	1,657,243	▲ 30.8	1,447

3. 患者サービス等について

- (1) コロナによる面会禁止のためアクリル板越し面会を継続してきたが、12月より陰圧ブースを導入して病棟での面会を開始した。ご家族に陰圧ブースに入ってもらい、より近い距離で患者様と面会していただくことができるようになった。また、病棟毎に対応できるようになったため、面会回数も増加した。
- (2) 感染対応BCPを作成して、病棟クラスター発生の際に運用することができた。
- (3) 老朽化により更新を計画していたX線透視装置とX線骨密度測定装置を計画通り更新した。

24.啓明ともいき保育園

(1) 在籍状況（90名定員）

	在籍数	所率（％）	0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上
4月	92名	102.2	8名	30名	18名	36名
5月	91名	101.1	8名	29名	18名	36名
6月	92名	102.2	8名	30名	18名	36名
7月	93名	103.3	9名	30名	18名	36名
8月	93名	103.3	9名	30名	18名	36名
9月	93名	103.3	9名	30名	18名	36名
10月	93名	103.3	9名	30名	18名	36名
11月	92名	102.2	9名	29名	18名	36名
12月	91名	101.1	8名	29名	18名	36名
1月	91名	101.1	8名	29名	18名	36名
2月	92名	102.2	9名	29名	18名	36名
3月	92名	102.2	9名	29名	18名	36名

(2) 防災訓練実施状況

- ・園児、職員による避難訓練(通報、消火訓練は毎月実施、地震、洪水、不審者想定も含む)を計画し実施。
- ・総合避難訓練は模擬通報、職員消火訓練実施。1,2,3月は予告なし訓練、冬場停電対応、土曜体制訓練実施。

(3) 行事の実施状況

- ・コロナ禍の中で感染対策をしながら、前年度出来なかった参観日を含め年間行事を予定通り行った。
- 【定例行事】
- ・入園お祝い会(縮小)、誕生会、季節ごとのお楽しみ会、園医健診、歯科健診
- 【季節行事】
- ・春の遠足(弁当は4,5歳児園外他園内)、お祭りごっこ(縁日のみ)、運動会、バス遠足、生活発表会(入れ替え)
- ・クリスマスお楽しみ会(バイキングなし)、新年お楽しみ会、節分、おみせやさんごっこ、お別れ会、卒園式
- 【その他】
- ・保護者出席の個人懇談は6月末から7月初、保育参観(人数制限)、観劇として和太鼓演奏、交通安全教室
- ・連携保育園との交流、慈啓会特養との交流、園解放は引き続き中止。
- ・年長児(5歳児)の園外活動は、藻岩山ロープウェイ登山、中島公園内の人形劇観賞
- ・大通り公園(テレビ塔外食経験)、雪まつり見学等、公共交通機関を利用し実施。

(4) 給食の実施状況

- ・札幌市の献立を基に園児に提供、アレルギー児は医師の診断を得てアレルギー食提供、卵、小麦、胡麻、乳。
- ・給食便り発行。子ども達に人気のあるもの、季節の食材によるメニューの紹介。
- ・子ども達が意欲的に食に関われるよう、プランターで野菜を育てる(各年齢)、食育は手洗い、スプーン箸の持ち方、野菜クイズ(とうきびの皮むき等)、年長はだし、三食食品群を知る、マフィントッキング

(5) 事故発生状況

- ・目の充血、股打撲、耳後ろ打撲(たんこぶ)、目異物混入(アルコール消毒液の噴射)、歯茎殴打

(6) 保健衛生

- ・コロナ陽性は4月園児3名保育士1名、8月園児18名保育士2名、9月園児10名保育士他4名、1月園児2名罹患
- ・インフルエンザAは1月から2月園児38名、保育士1名罹患、手足口病7月12名(0,1歳児)、他RSウイルス、胃腸炎、突発性発疹、ヘルパンギーナ、ノロウイルスに数名罹患した。

(7) 職員研修実施状況

- ・キャリアアップ研修(食育、幼児乳児保育)オンライン、対面受講、幼保小連携研修、
- ・札幌市生涯学習センター主催(気になる子の理解と育ち)、私保連研修(乳児期の身体の発達を育む関わり)
- ・栄養士対象私保連研修(食はいのち、本物の味を)、園内研修(認定こども園概略、異年齢保育)

25. 中央区第2地域包括支援センター・中央区第2介護予防支援事業所

○中央区第2地域包括支援センター

(1) 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	75	63	92	59	98	90	85	73	63	58	64	73	893

(2) 会議開催、参加等

	主催	参加
個別地域ケア会議	15	
個別地域ケア会議の準備会	25	
地区地域ケア会議	3	
地区連絡会議	19	
区地域ケア推進会議	1	
区連絡会議	10	
市地域ケア推進会議		0
①②以外のケース検討会議	2	0
運営推進会議等		20
介護支援専門員連絡協議会		1
地区組織との連携	0	19
医療機関との連携	0	0
主任介護支援専門員との連携	7	0
その他関係機関との連携	23	8
生活支援コーディネーター等との連携	0	1
合 計	105	49

○介護予防ケアマネジメント業務・指定介護予防支援業務

(1) 登録者推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	903	861	878	893	887	866	869	872	881	891	887	883	
解約者数	47	20	13	21	13	17	13	10	10	10	8	6	188
未利用者	156	118	119	131	130	100	113	114	110	127	113	105	

(2) 給付管理提出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	25	28	22	13	7	20	14	8	14	11	15	19	196
継続利用数	722	715	737	749	750	746	756	750	757	752	759	759	8,952
合 計	747	743	759	762	757	766	770	758	771	763	774	778	9,148

(3) 活動状況

- ① 札幌市・区連絡会議:24回 ② 研修会参加者数:23回/43名(延べ人数)
 ③ 虐待関係会議(コアメンバー、初動期評価、ケース、評価):7回 ④ 研修会開催・講話:36回

全体のまとめ

・年度当初より相談件数の増加がみられ、前年度と比べて21件増加した。また、介護保険利用者数についても増加がみられ、前年度の給付管理提出数と比べて458件増加した。

・個別地域ケア会議の開催について、今年度の開催目標件数を12回とした中で、15回の会議を開催をすることができた。開催の大多数が課題解決型の個別地域ケア会議であり、自立支援型の個別地域ケア会議の開催件数が1回のみであったため、自立支援型の個別地域ケア会議の開催数の増加を次年度の課題としたい。

・地域活動については、徐々にではあるが再開されてきた。しかし、イベントなど地域住民と一緒に活動するような内容については、行う機会は少なかった。

・地域でのケアラー支援体制の構築に向けて、2包エリアにある児童・障がい・高齢者分野の事業所間の連携を目的にケアラー・ヤングケアラー支援を考えていく会議を定期的に開催することができた。また、研修会を3回行うことができ、延べ76名の参加があり、分野の垣根を超えて横のつながりを作るきっかけづくりとなった。

26. 中央区第3地域包括支援センター・中央区第3介護予防支援事業所

○中央区第3地域包括支援センター

(1) 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	76	81	96	78	81	87	88	72	73	88	77	88	985

(2) 会議開催、参加等

	主催	参加
個別地域ケア会議	6	
個別地域ケア会議の準備会	5	
地区地域ケア会議	2	
地区連絡会議	9	
区地域ケア推進会議	1	
区連絡会議	10	
市地域ケア推進会議		2
①②以外のケース検討会議	2	0
運営推進会議等		16
介護支援専門員連絡協議会	2	4
地区組織との連携	10	29
医療機関との連携	12	1
主任介護支援専門員との連携	1	4
その他関係機関との連携	116	75
生活支援コーディネーター等との連携	0	1
合 計	176	132

○介護予防ケアマネジメント業務・指定介護予防支援業務

(1) 登録者推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	1,097	1,097	1,101	1,096	1,103	1,106	1,109	1,105	1,089	1,109	1,105	1,122	
解約者数	20	27	19	20	20	24	29	35	19	30	22	31	296
未利用者	132	138	124	118	130	127	110	109	112	139	130	138	

(2) 給付管理提出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	30	21	35	30	30	26	37	29	21	27	35	38	359
継続利用数	935	938	942	948	943	953	962	967	956	943	940	946	11,373
合 計	965	959	977	978	973	979	999	996	977	970	975	984	11,732

(4) 活動状況

- ① 札幌市・区連絡会議 24回 ② 研修会・参加者数 12回/ 14名(延べ人数)
 ③ 虐待関係会議(コメンター、初動期評価、ケース、評価) 7回 ④ 研修会開催 11回

全体のまとめ

・介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援事業における利用者数は11,732件で、目標より28件少ないが概ね達成できた。前年度比で489件増加している。

・コロナ禍に自粛・中止していた関係機関との連絡会議や研修会などが再開され、コロナ禍以前より実施・参加回数が増加している。

・地域活動では、山鼻地区はコロナ禍でも繋がりが途切れない地域づくりを目指し、関係機関や地域の医療機関と協働した「ふらっとカフェ」で検討し、地域住民や商店街の皆さんと紙袋ランタンにあかりを灯すイベントを行った。

・企業との連携事業として、プロム東光から提供されたフリースペースを活用し、月1回高齢者向けの相談や情報発信を開始し、好評のため関係者と事業の継続や拡大に向け検討することができた。

・曙地区では、相談先周知のために関係機関と「ほのぼのカレンダー」を作成し、高齢者宅や高齢者を見守り支えるネットワーク「高齢者見守りサポーター事業」の登録店であるスーパーや銀行等に配布した。

・これらの取組を発展させ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域ケアシステム構築を進める。

1. 役員及び評議員に関する事項（令和４年度末現在）

（１）理事及び監事（理事定数６・監事定数２）

	氏名	所属および職名	就任 年月日	任期満了 年月日	最初の 就任年月日
理事長	太田 眞琴	宗教法人 新善光寺 代表役員 住職	R3. 6. 21	定款第 20 条 第 1 項適用	H3. 6. 2
専務理事 （常勤）	今 真一	社会福祉法人札幌慈啓会	R3. 6. 21	定款第 20 条 第 1 項適用	R3. 6. 21
理 事 （常勤）	木村 裕一	社会福祉法人札幌慈啓会 慈啓会病院院長	R4. 3. 28	定款第 20 条 第 1 項適用	R4. 3. 28
理 事	佐藤 源五郎	(株)マルゲンビル 代表取締役社長	R3. 6. 21	定款第 20 条 第 1 項適用	H17. 4. 1 （監事 H4. 11. 23）
理 事	太田 真海	宗教法人 新善光寺 副住職	R3. 6. 21	定款第 20 条 第 1 項適用	H24. 11. 23 （評議員 H21. 4. 1）
理 事	樋爪 昌之	税理士法人 ひづめ会計 代表社員	R3. 6. 21	定款第 20 条 第 1 項適用	R1. 6. 19 （監事 H17. 4. 1）
監 事	堀内 和紀	宗教法人 善道寺 住職	R3. 6. 21	定款第 20 条 第 1 項適用	H26. 2. 26
監 事	山田 肇		R3. 6. 21	定款第 20 条 第 1 項適用	R1. 6. 19 （評議員 H26. 11. 23）

（２）評議員（現員 10 名。評議員定数 7 ～10 名）

	氏名	所属および職名	就任 年月日	任期満了 年月日	最初の 就任年月日
評議員	片山 浄教	宗教法人 浄土宗天徳寺 前住職	R3. 6. 21	定款第 7 条 第 1 項適用	H16. 5. 26
評議員	植田 英隆	株式会社りんゆう観光 相談役	R3. 6. 21	定款第 7 条 第 1 項適用	H22. 2. 24 （評議員 H6. 11. 23）
評議員	熊谷 明也	マンション経営	R3. 6. 21	定款第 7 条 第 1 項適用	H6. 11. 23
評議員	佃 公子		R3. 6. 21	定款第 7 条 第 1 項適用	H6. 11. 23
評議員	藤岡 弘昌		R3. 6. 21	定款第 7 条 第 1 項適用	H22. 2. 24
評議員	寺井 孝典	社会福祉法人 徳風会 養護老人ホームかるな和順 施設長	R3. 6. 21	定款第 7 条 第 1 項適用	H24. 11. 23
評議員	佐々木 琢至	司法書士・土地家屋調査士 ささき事務所	R3. 6. 21	定款第 7 条 第 1 項適用	H26. 11. 23
評議員	小村 知江子	新善光寺明照婦人会 副会長	R3. 6. 21	定款第 7 条 第 1 項適用	H29. 4. 1
評議員	中田 大信	浄土宗 藻縁山 観音寺 住職	R3. 6. 21	定款第 7 条 第 1 項適用	R3. 6. 21
評議員	宿谷 英樹	学校法人 新善行寺学園 白石幼稚園 副園長	R3. 6. 21	定款第 7 条 第 1 項適用	R3. 6. 21

2. 職員に関する事項（令和4年度末現在）

（1）主要職員

氏 名	役職（主な兼務職）	職務	採用年月日	備考
今 真 一	法人本部事務局長（法人専務理事）	法人事務局の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H27. 4. 1	
木 村 裕 一	慈啓会病院 院長（法人理事）	病院業務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H25. 1. 1	
笹 本 守 行	法人本部 財務部長兼総務部長	部の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	R3. 3. 1	
蝦 名 真	法人本部 福祉部長兼経営企画部長	部の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H6. 4. 16	
小 関 礼 嘉	法人本部 事業部長	部の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	R2. 4. 1	嘱託職員
能 代 篤 幸	慈啓会養護老人ホーム 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	S59. 4. 1	嘱託職員
川 島 志 緒 里	慈啓会ふれあいの郷 養護老人ホーム 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	S56. 4. 1	嘱託職員
前 川 恭 子	慈啓会特別養護老人ホーム 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H13. 4. 1	嘱託職員
谷 口 俊 弘	慈啓会特別養護老人ホーム 副施設長	施設長を補佐し 施設の事務を整理する	H15. 4. 1	
福 士 友 将	特別養護老人ホーム札幌市稲寿園 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H10. 4. 1	
岩 田 康 孝	特別養護老人ホーム札幌市稲寿園 副施設長	施設長を補佐し 施設の事務を整理する	R2. 4. 1	嘱託職員
嶋 正 人	札幌市菊寿園 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H6. 4. 1	
阿 地 俊 弘	札幌市拓寿園 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H31. 4. 1	嘱託職員
垣 内 英 樹	慈啓会老人保健施設 施設長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H6. 5. 1	
道 林 松 美	慈啓会老人保健施設 副施設長	施設長を補佐し 施設の事務を整理する	S63. 5. 1	
宮 地 佐 栄	慈啓会病院 副院長 （内科担当）	院長を補佐し 病院業務を整理する	H21. 4. 1	
片 村 能 也	慈啓会病院 副院長 （精神科担当）	院長を補佐し 病院業務を整理する	H12. 4. 1	
金 子 哲 也	慈啓会病院 事務長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	S59. 4. 1	
奥 村 美 貴 子	慈啓会病院 看護部長	看護部の業務を司り 所属職員を指揮監督する	H6. 11. 1	
品 田 聡 美	啓明ともいき保育園 園長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H26. 10. 1	
鎌 田 宏 典	札幌市中央区第2地域包括 支援センター センター長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	H10. 4. 1	
澤 田 さ と み	札幌市中央区第3地域包括 支援センター センター長	施設の事務を掌理し 部下職員を指揮監督する	R2. 4. 1	嘱託職員

(2) 職員数 計631名(令和4年度末)

<内 訳(単位:名)>

- 雇用区分別 正職員408/嘱託職員47/ほか契約職176
(正職員比率64.66%)
- 勤務形態別 フルタイム勤務513/パートタイム勤務118
- 性別別 男性172/女性459
- 職種別 医師15/看護職142/コメディカル32/看護補助39/
介護職222/相談職74/保育士25/事務職48/その他34

3. 役員会に関する事項(R4.4.1~R5.3.31)

(1) 理事会

開催年月日及び場所等	議事事項	結果
令和4年度第1回理事会 令和4年6月13日14時 テレビ会議 理事 出席5名・欠席1名 監事 出席2名全員	議案第1号 令和3年度補正予算(第3回) 議案第2号 令和3年度事業報告 議案第3号 令和3年度決算承認 議案第4号 令和4年度補正予算(第1回) 議案第5号 夏季手当支給割合 議案第6号 会計監査人候補者推薦 議案第7号 定時評議員会開催 報告第1号 令和3年度決算監査報告 報告第2号 令和3年度第4四半期職務執行状況報告 報告第3号 社会福祉充実計画の件	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
令和4年度第2回理事会 令和4年8月29日14時 テレビ会議 理事 出席6名全員 監事 出席2名全員	議案第1号 専決処分事項承認 議案第2号 保育処遇改善手当に伴う給与規程改正 議案第3号 寒冷地手当支給について 議案第4号 介護育児休業及び介護育児短時間勤務等に関する規則の改正 議案第5号 人事案件 報告第1号 令和4年度第1四半期職務執行状況報告	可決 可決 可決 可決 可決
令和4年度第3回理事会 令和4年11月22日14時 テレビ会議 理事 出席5名・欠席1名 監事 出席2名全員	議案第1号 専決処分事項指定 議案第2号 冬季手当支給割合 報告第1号 令和4年度第2四半期職務執行状況報告 報告第2号 令和4年度決算(第1回) 報告第3号 令和5年度に向けた清掃業務契約の更新について	可決 可決

開催年月日及び場所等	議事事項	結果
令和４年度第４回理事会 令和５年２月２１日１４時 テレビ会議 理事 出席６名全員 監事 出席２名全員	議案第１号 専決処分事項承認 議案第２号 役員賠償責任保険の加入 議案第３号 令和４年度補正予算案（第２回） 議案第４号 人事案件 議案第５号 臨時評議員会開催 報告第１号 令和４年度第３四半期職務執行状況報告 報告第２号 令和４年度決算見込（第２回）	可決 可決 可決 可決 可決
令和３年度第５回理事会 令和５年３月２３日１４時 ホテルマイスデイズ札幌アス ペン 理事 出席６名全員 監事 出席２名全員	議案第１号 給与規程の改正 議案第２号 奨学金規定の改正 議案第３号 令和５年度事業計画 議案第４号 令和５年度予算	可決 可決 可決 可決

（２）評議員会

開催年月日及び場所等	議事事項	結果
令和４年度定時評議員会 令和４年６月２８日 ニューオータニイン札幌 評議員 同意８名全員	議案第１号 令和３年度事業報告 議案第２号 令和３年度決算承認 議案第３号 会計監査人選任 報告第３号 令和３年度決算監査報告 報告第２号 社会福祉充実計画	可決 可決 可決
令和４年度臨時評議員会 令和５年３月２３日１４時 ホテルマイスデイズ札幌アス ペン 評議員 同意９名全員	報告第１号 令和５年度事業計画 報告第２号 令和５年度予算	